

「誰か × 誰か」「誰か × 何か」の組み合わせが面白い。

小学生 × 宿題

『文房具図鑑 その文具のいい所から悪い所まで最強解説』
山本 健太郎 / 絵・文 いろは出版

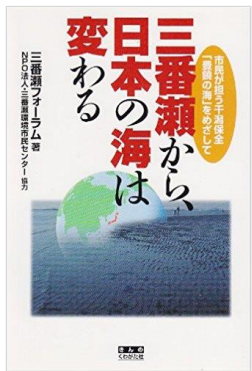
小学6年生の宿題が、1冊の本になりました。その名も『文房具図鑑』。文房具好きの著者が夏休みの自由研究で作ったもので、文房具の特徴や使い心地が細かく解説されています。全ページ手書きで、掲載アイテム数はなんと168個！懐かしの定番品から新製品まであり、大人も子どもも楽しめる内容です。室内で過ごすことが増える梅雨の季節に、お気に入りの文房具を見つけてみてはいかがでしょうか。(沼田)



干潟から海の問題を考える

私たちは東京湾の遠浅の海や干潟がもたらす恵みを受け取ってきましたが、経済成長に伴う開発埋立によって海はコンクリートで囲われ、遠ざかっていきました。

この本は海の生物だけでなく野鳥の宝庫でもある干潟、三番瀬が開発のため消失する危機に際して、開発と保護という対立ではなく『環境保全』から計画の見直しを様々な関係者が考え、活動していく経緯を綴ったドキュメンタリーです。「三番瀬から日本の海は変わる」というタイトルは豊かな里海を次世代に残さなければ、という強いメッセージが込められています。あだち再生館の図書コーナーに置いてありますので、ぜひどうぞ。



『三番瀬から、日本の海は変わる』
三番瀬フォーラム / 著
さんのくわがた社

図書館職員がやってみました！

みなさん、雨の日は好きですか？
はじめじめした日が続いても、お気に入りの傘があれば毎日がちょっと楽しくなるかもしれません。

みなさん、雨の日は好きですか？
はじめじめした日が続いても、お気に入りの傘があれば毎日がちょっと楽しくなるかもしれません。

この絵本に出てくるのは、竹と紙で作られたタイの伝統的な傘です。今回は、竹ひごや障子紙を使って、ミニサイズの傘を作ってみました。一応開閉できますが、細かい所は適当です。最後は絵付け。実際にタイ北部の都市では傘祭りが開催されるそう、色とりどりの傘の写真をみるのができます。が、私にこんな細密画は描けない！絵本の主人公は「心のままに」ゾウの絵を描いていたので、私も名作絵本からお借りしたゾウを心のままに描いてみました。広い心でご覧ください。(丸山)



Vol.14



『かさの女王さま』
シリム・イム・ブリッジズ / 文 セーラー出版

館長が紹介する「印象に残った1文」とは？



『へろへろ 雑誌『ヨレヨレ』と「老宅所よりあい」の人々』
鹿子 裕文 / 著 ナナロク社



「いたらんことをせんで、
同じ時間をともに楽しむのだ。」

6月4日は「ムシの日」ということで、今回は虫にまつわる本を紹介いたします。この『虫封じ(ます)』に出てくる虫は普通の虫ではありません。

舞台は文政の江戸。貧乏長屋で子どもたちの面倒をみながら暮らすお夕のもとに、1人のお侍が現れました。この男、薄羽影郎と言う名で、ひよろりと痩せた風貌が一見頼りなさそうに見えますが、実は人の心に潜んだ虫を封じることができ、凄腕の治者でした。お夕たちの長屋に住み着いた影郎と、その助手になつたお夕の虫退治がはじまります。医療、妖怪、ミステリーに加え、読み終わった後に心がほっこり温まるような人情話を持ち味の時代小説です。(竹原)



こんな本もありますよ 『すごい虫の見つけかた』
海野 和男 / 写真・文 草思社

『ちょうちょ』
江國 香織 / 文 白泉社

クイズにこたえて、
図書館でプレゼントをもらおう。

もんだい：「梅雨」の読み方はなんですか？

- ① だし ② つゆ ③ しる

こたえ： _____